

平成26年度 事業計画書  
公益社団法人 化学工学会

平成26年度重点施策  
～ Vision2023 フェーズ1：学会機能の革新、  
強化による活用価値の向上を目指して ～

1. 産学連携を強みとする学会の特質強化
  - ① 本部大会改革推進による活性化
  - ② 人材育成プログラムの継続的展開と社会的認知度の向上
  - ③ シニアエンジニアの知識の集大成化による若手世代への知恵の伝承
  - ④ 部会での産学連携強化
  - ⑤ 中堅企業による業界出口ベースの産産連携活動の検討
2. 化学工学研究の社会的認知度向上の支援
  - ① 化学工学研究の新定量評価指標の策定と定着
  - ② プロセス工学領域研究の社会還元と化学界及び社会での認知度向上
  - ③ 英文誌と部会国際シンポジウムの連携による世界への発信強化
3. 国際的活動の展開と定着
  - ① 本部大会の国際化（部会シンポジウムの国際化推進）
  - ② 欧米、中国、韓国、ASEAN各国との交流緊密化の定着
4. 本部／支部／地区懇話会の連携醸成
  - ① 支部の業務効率化と独自活動、連携活動の支援
  - ② 人とモノ（知的資産、情報など）のネットワーク化

[1] 公益事業

1. 学術集会事業

(1) 本部大会

①第79年会 (H26年3月18～20日) 岐阜大学柳戸キャンパス

②第46回秋季大会 (H26年9月17～19日) 九州大学伊都キャンパス

・第79年会から本部大会を改革し活性化を推進

改革1：会長講演・基調講演の新設

改革2：充実したポスターセッションと学生賞の新設

改革3：口頭セッション登壇者に制限を設け内容を充実させ、ポスターセッションと連動した口頭セッションを新設

改革4：シンポジウムの充実。化学産業技術フォーラムでは一般公募枠を新設し、国際シンポジウムと併せ内容を充実。

(2) 支部大会

・関東支部大会 (H26年11月) 新潟にて

・関西支部大会 (H26年12月) 姫路にて

・中国四国支部共催 (H26年12月) 広島にて

(3) 講演会、シンポジウム

- ・各種講演会、シンポジウム、講習会、技術交流会等の開催

## 2. 国際交流事業

### (1) 国際化を促進する

- ・ホームページの国際関連記事の英文化を充実する
- ・化学工学会アセアン連合の動向に注目し支援する
- ・アジア未交流国との交流を検討する
- ・学生の海外学会発表支援について検討する

### (2) 個別交流事業の実施

- ・中国  
CIESC と日中化工シンポジウムについての今後のあり方について引き続き新たなシンポジウム開催を模索。
- ・韓国  
化学工学に関する国際シンポジウム（日韓学生シンポ, The 27th International Symposium on Chemical Engineering）12/5-7, Malaysia Kuala Lumpur で開催する。
- ・台湾  
台湾とのジョイントシンポジウムを開催できるよう努力する。

#### ・ASEAN

10/29-30 Malaysia で開催される RSCE2014 へ参画する。

Philippines で計画されている化学工学会アセアン連合(AFChES) に注目し、引き続き Philippines や Thai との関係を構築する。

#### ・米国

AICChE(Atlanta, 11/18-21)で Reception を開催し、Joint Session を企画する。session 以外の協力関係の検討引き続き AICChE での Reception を計画する。

#### ・ドイツ

2014 年のグリーン・イノベーション EXPO にて第 2 回日独フォーラムを DECHEMA と排水処理をテーマに共催できるよう努力する。

2015 年に ACHEMA, INCHEM で DECHEMA との共催フォーラムを準備する。今後の協力関係をさらに深める。

#### ・WCEC/APCChE

会議が開催された時は参加する。

#### ・国際シンポジウム

平成 27 年 3 月の年会での国際シンポジウムの準備をする。平成 27 年度でもアジア国際賞に基づくシンポジウムの他に部会独自の国際シンポジウムを 2 件以上実施できるよう努力する。

### (3) 化学工学各種事業の国際化に向けた検討

- ・支部、部会、委員会の英文ホームページの作成支援
- ・本部英文ホームページの充実と海外への発信
- ・英文ニューズレターの海外会員へのネット配信を検討する
- ・グリーンイノベーション EXPO のコンテンツや化学工学会企画セミナーなどの国際化
- ・化学産業界、化学機械・機器メーカーのニーズに基づく国際交流事業の推進

## 3. 人材育成事業

### (1) 夢化学

- ・「夢・化学-21委員会」と協働した新規活動（化学の日、化学週間にあわ

せて)

- ・「高校生向けのビデオ教材」の更なる充実。
  - ・「高校生のための施設見学会」開催による高校生が現場を勉強する機会の提供。
- (2) 理科教育
- ・「学生発表会」(平成26年3月1日東京工業大学、大阪府立大学)の開催と、次年度(平成27年3月7日八戸高専、徳島大学)に向けた準備。
  - ・「中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会」の開催。中高教諭の工学への理解を深める機会を更に増やすため、26年度は、関東支部と関西支部の共催による2箇所での開催を予定。
- (3) 高等教育
- ・平成25年度に実施した「各種アンケート結果」の報告書作成と、高等教育機関でのカリキュラム充実に繋げる活動を実施。
  - ・教育審査委員会より「JABEEと連携した活動」を継承。社会の要求に応じた高等教育機関の技術者教育を改革する活動を実施。
  - ・SIS部会情報技術教育分科会「プロセスデザイン学生コンテスト」を共催
- (4) インターンシップ
- ・約20社の協力の下、7～9月に化学工学に特化したテーマで実施を予定。
  - ・インターンシップを体験した学生が、熱の冷めぬうちに報告会を実施。秋季大会中に学生が集える場として、以後、秋季大会中に開催。
- (5) 継続教育
- ・保有する38プログラム(プラント21、安全6、環境9、その他2)の実施。事前アンケートによる受講者の受講目的等の把握。事後アンケートに基づくプログラムの見直し、教材の改定・更新。予習・復習のサポート。
  - ・技術者の継続教育に向けた新規プログラムと、webnair及びweb教材等の制作開発を検討。
  - ・化学工学技士(基礎)を保有し、かつ、学生会員から正会員に移行した、企業の若手社員を対象にした特典を実施。
- (6) 経営ゼミナール
- ・社会経済の動きに即応し、リーダーシップを発揮できる経営者の育成。
  - ・第40回経営ゼミナール(平成26年9月5,6日芦屋、10月3,4日三島、10月31日、11月1日名古屋、11月28,29日東京)の実施。テーマ:「新日本創生へのステップアップ ～自らを変え、組織を変革する～」。
  - ・過去の受講者が集うOB会を実施。
- (7) その他
- ・「教育奨励賞」の審査・選考。

#### 4. 資格付与事業

##### (1) 資格制度運営

- ・「上席化学工学技士」の審査に向けた運営。認定、登録、更新。
- ・「化学工学技士」の試験実施に向けた運営。認定、登録、更新。
- ・「化学工学技士(基礎)」の試験実施に向けた運営。認定、登録。
- ・「化学工学修習士」の審査に向けた運営。認定、登録。
- ・実施済みの「化学工学技士(基礎)」問題を英文翻訳し、国際交流活動への活用を検討。更に解説も作成し、法人会員対象にセット販売を検討。

- ・「技士会」立ち上げに向けた準備。

## 5. 出版事業

### (1) 学会誌

- ・連載記事の充実
- ・部会発の記事の充実
- ・広告（会誌、HP）獲得の拡大

### (2) ホームページ

- ・新ホームページの作成・公開

## 6. 受託事業

- ・調査研究事業の実施及び受託等の情報収集

## 7. 技術相談事業

- ・産から学会への提言システムの構築と連携の推進
- ・常置委員会の活動支援による交流会の増強
- ・課題解決型タスクフォース等の推進

## 8. 審査事業

- ・論文誌のプレゼンス向上に係わる企画立案
- ・特集企画の立案による投稿記事の促進
- ・優秀論文賞及び論文審査貢献賞の表彰

## 9. 表彰事業

- ・名誉会員候補者の推薦
- ・H26 年度化学工学会賞の表彰

## 10. 男女共同参画事業

- ・第 79 年会（岐阜）にて「女性賞」受賞記念講演を含むシンポジウム「女性技術者フォーラム」の実施
- ・第 46 回秋季大会（九州）及び東京における「学生のためのキャリアデザインセミナー」開催
- ・「うちの取組」記事を含む「目指せ！ダイバーシティ」シリーズを継続
- ・「女性技術者ネットワーク」を継続的に開催
- ・本部大会開催期間中における保育サービスの実施

## [2] 収益等事業

### 1. 展示出展事業

- ・グリーン・イノベーション EXPO 2014 の開催（H26 年 11 月 12 日～14 日）  
産学官マッチングフォーラム、日独先端科学技術フォーラム（DECHEMA と共催）の企画、水・シェールガス・海洋資源開発他セミナー開催
- ・INCHEM TOKYO2015 の計画立案

### 2. 相互扶助事業

#### (1) 支部・懇話会

- ・地域 C T 賞の表彰

- (2) 部会
  - ・部会の専門書の出版の推進
  - ・部会C T賞の表彰
  - ・部会H Pの継続的な更新と適切な運用の推進
- (3) 会員増強
  - ・入会パンフレットの作成
  - ・大会への企業講演の組み入れ
  - ・H Pをつかった会員増強運動
  - ・会員増強功績賞の表彰
- (4) 戦略企画
  - ・Vision 2023の継続的なフォロー
  - ・クローズドコンソーシアムによる既存プロセスの技術革新の検討継続
  - ・次世代エネルギー社会の技術、システムの提言を継続

### [3] 刊行物

#### 1. 定期刊行物

- (1) 「化学工学」誌 第78巻No.1～12号(12冊)
  - ・ページ数：60ページ/号平均
- (2) 「化学工学論文集」第40巻No.1～6
  - ・ページ数：80ページ/号平均
  - 電子版：奇数月発行6回/年
  - 冊子版：1、3月号、5、7月号、9、11月号を合本として年3回発行
- (3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN” 第47巻No.1～12
  - ・ページ数：90ページ/号平均
  - 電子版：毎月発行12回/年
  - 冊子版：1～3月号、4～7月号、8～12月号を合本として年3回発行

#### 2. 不定期刊行物

- ・「エクセルで化学工学」移動論編 (丸善出版)

### [4] 支部事業

別紙「平成26年度各支部事業計画書」参照

### [5] 部会事業

別紙「平成26年度各部会事業計画書」参照

# 平成26年度支部事業計画書

(自 平成26年 3月 1日～至 平成27年2月28日)

公益社団法人 化学工学会

( ) 共催行事・( ) 地区懇話会名等・○印日程未定

		北海道支部	東北支部	関東支部
26年3月			1 第16回化学工学会学生発表会(東京大会)(東工大) 4 (秋田) 第48回秋田化学技術協会研究発表会 4 (宮城) 第14回宮城化学工学懇話会先端研究発表会(東北大) (東北支部協賛) 6 第47回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)	○ つくば学生研究交流会(つくば懇話会)
4月			○ (岩手) 総会(岩手大) ○ (宮城) 総会(東北大) ○ 東北支部特別講演会(東北大)	18 第1回運営会議
5月	○ 平成26年度第1回常任幹事会		○ (青森) 総会 ○ (青森) 青森化学工学懇話会技術講演会 ○ (秋田) 総会 ○ (秋田) 第40回ケミカルエンジニアリング交流会 ○ (山形) 総会(山形大) ○ (山形) 山形化学工学懇話会講演会(山形大) ○ (福島) 総会(福島大)	9 第1回幹事会 23 神奈川技術見学・講演会(神奈川懇話会) ○ 講演会(つくば懇話会) ○ 理事会・総会・第136回講演会(新潟懇話会)
6月	○ 平成26年度第1回役員会 ○ 第17回化学工学北海道アカシアセミナー(第152回講演会) 13～14 (北海道大学工学部フロンティア化学教育研究センター第3回国際シンポジウム)		○ 第22回東北支部若手の会セミナー(宮城)	13 ものづくり技術セミナー 20 第50回関東技術サロン・第2回幹事会 ○ 化学工学入門コース ○ 総会および記念講演会(北関東懇話会) ○ 講演会(つくば懇話会)
7月			○ 第48回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)	26 第20回現代電子屋講座 ○ 中高教諭とケミカルエンジニア交流見学講演会 ○ つくば化学技術懇話会 総会・合同講演会(つくば懇話会)
8月	○ (粒子流体プロセス技術コース2014(第28回流動層技術コース)) ○ (化学工学会(3支部合同大会2014))		○ 第19回東北ジョイント夏季セミナー(秋田) ○ 東北支部平成26年度第1回役員会 ○ (福島) 夢化学21	22 第3回幹事会 ○ バイオプロセス講演見学会 ○ 第21回旬の技術講演見学会 ○ 第44・45回化学工学基礎講習会(新潟懇話会)
9月	○ (平成26年度微粒子工学講演会)		○ (宮城) 第15回宮城化学工学懇話会先端研究発表会(東北大) (東北支部協賛) ○ (平成26年度化学系学協会東北大会)(山形大) ○ (福島) 福島化学工学懇話会講演会	12 第3回幹事会 ○ 第19回基礎化学工学講習会(1・2日目) ○ 神奈川技術講演会 ○ 第2回幹事会(新潟懇話会) ○ 第46・47回化学工学基礎講習会(新潟懇話会)
10月			○ (青森) 青森化学工学懇話会講演会(みちのく新技術フォーラム) ○ (岩手) 岩手化学工学懇話会講演会 ○ および見学会in奥州市 (東北支部協賛) ○ (岩手) 岩手化学工学懇話会講演会in北上市(東北支部協賛) ○ (岩手) 岩手化学工学懇話会講演会in花巻市(東北支部協賛) ○ 第49回プロセス設計技術講演会・見学会(山形)	10 第3回運営会議 ○ 第19回基礎化学工学講習会(3・4日目) ○ 第19回基礎化学工学講習会(5・6日目) ○ 第45回CEシリーズ講習会 ○ 見学会(つくば懇話会) ○ 研修懇親会(北関東懇話会)
11月	○ 平成26年度見学会および講演会(第153回講演会)		○ (秋田) 第41回ケミカルエンジニアリング交流会 ○ (岩手) [第24回化学工学一関セミナー](一関高専) ○ (第30回表面技術セミナー)(岩手大)	22-23 新潟支部大会 28 第51回関東技術サロン ○ 第23回イブニングセミナー ○ 鹿島コンビナート講習会
12月	○ 平成26年度第2回常任幹事会 ○ 平成27-28年度支部長選考会議		○ (山形) 山形化学工学懇話会技術講演会(山形大) ○ (福島) 第5回福島地区CEセミナー (東北支部協賛)	○ 第17回材料セミナー ○ 最近の化学工学講習会64 ○ 第137回講演会(新潟懇話会) ○ 第3回幹事会(新潟懇話会)
26年1月	30～31 第24回化学工学・初級工学研究発表会(札幌工業大) 30 平成26年度第2回役員会		○ 第50回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城) ○ (福島) 福島化学工学懇話会見学会 ○ 東北支部平成26年度第2回役員会(宮城)	○ 講演会(北関東懇話会)
2月				20 第4回運営会議

平成26年度支部事業計画書

(自 平成26年 3月 1日～至 平成27年2月28日)

公益社団法人 化学工学会

東海支部		関西支部		中国四国支部		九州支部	
7	第1回 幹事会/第1回 第79年会実行委員会	1	第16回化学工学会学生発表会増大会(大阪) 〔各支部若手の会 共催〕 CES21若手・中堅研究者懇親・講演会(岐阜)	3~6	〈中国四国〉〈山口〉基礎化学工学講習会(周南)		
				25日	〈中国四国〉〈中国〉総会・記念講演会(広島)	○	第1回役員会
○	第2回 幹事会/第2回 第79年会実行委員会 ○ 〈静岡〉役員会・総会/第48回 静岡コロキウム	○	学生の会幹事会 ○ 〈北陸〉定期総会・第1回理事会(富山) ○ 〈播磨〉第1回理事会 ○ 〈播磨〉定期総会	○	〈中国四国〉〈岡山〉総会・特別講演会(岡山)	○	第1回幹事会・企画会議 ○ 〈西九州〉総会・講演会 ○ 〈北九州〉総会・講演会
○	第7回機器分析講習会 11~13 第38回 基礎化学工学演習講座[名古屋市 18~20 工業研究所]	○	第1回幹事会 ○ プラント・プロセス研究会第13回見学会 ○ 化学工学イノベーション研究会第13回研究会	20日	○ 〈中国四国〉〈徳島〉総会・記念講演会(徳島) ○ 〈中国四国〉〈山口〉総会・講演会・見学会(宇部)	28	第51回化学関連支部合同九州大会 28 化学工学会九州支部学生賞審査会
○	第3回 幹事会 ○ 〈静岡〉大人のための理科倶楽部	○	セミナー「膜分離技術を取り巻く最新技術動向と 省エネ技術」(大阪) ○ セミナー「新しい製品を生み出す粉体技術:計測から 機能化まで」講演&展示」(大阪) ○ 学生の会大学見学会・月例セミナー ○ 環境&資源エネルギー研究会第12回講演会 3 開発型企業連携研究会セミナー&ミキサー(大阪) ○ 水素・燃料電池システム研究会 第1回燃料電池講演会 ○ 化学工学CFD研究会 第1回研究会 ○ 〈北陸〉第9回北陸地区化学工学研究交流会(金沢)	○	〈中国〉新技術交流会(広島)	25,26	第25回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 ○ 〈南九州〉総会・講演会
○	第95回 講演見学会	○	学生の会企業見学会 ○ 〈北陸〉第211回装置懇話会(富山)	4~5日	○ 〈若手〉若手CE合宿(岡山) ○ 〈中国〉広島大学オープンキャンパス(広島大)	○	第45回化学工学の基礎講習会 ○ 夢・化学-21 化学への招待(各大学) ○ 〈東九州〉総会・講演会
○	(第106回 東海技術サロン)(中部科学技術 センター・東海化学工業会担当)	5,6	(人材育成センター 共催)第40回経営ゼミナール 関西セッション(芦屋) ○ セミナー「化学プラントの安全対策」(大阪) ○ 〔各支部若手の会 共催〕CES21若手・中堅研究者 懇親・講演会(福岡) ○ 工業化技術研究会第9回研究会 ○ 化学工学イノベーション研究会第14回研究会 ○ 〈播磨〉第6回工学基礎講座(姫路)	○	〈中国四国〉〈中国〉基礎化学工学講習会(広島大)	17-19	化学工学会第46回秋季大会 ○ 第2回役員会
○	第4回 幹事会 ○ 第2回 信州コロキウム ○ 〈静岡〉第22回 静岡フォーラム (研究交流セミナー) 31~ (人材育成センター 共催)第40回 経営ゼミナール 11/1 東海セッション[邦和セミナープラザ]	○	第2回幹事会(大阪) 15 セミナー「マイクロプロセス最前線シリーズ:産学の 絆によるマイクロアクター技術の実用化」(神戸) ○ 第20回実践化学工学講座 全10日間(大阪) 22 第3回技術シーズフォーラム(大阪) ○ 学生の会大学見学会・月例セミナー ○ 環境&資源エネルギー研究会第13回講演会 ○ プラント・プロセス研究会第14回見学会 ○ [OpenCAE学会 共催]化学工学CFD研究会 共催セッション(東京) ○ 〈北陸〉第2回理事会			○	第2回幹事会・企画会議
○	第6回 製剤技術講習会 ○ 第48回 進歩講習会 ○ 第2回 初歩からの化学工学概論・演習講座 ○ 〈静岡〉第22回 企業技術交流会 29~30 (第45回 中部化学関係学協会支部連合秋 季大会)[中部大学春日井キャンパス]	○	[SIS部会FO分科会 共催]第32回プラント オペレーションに関する現場監督者セミナー ○ 学生の会企業見学会 ○ 水素・燃料電池システム研究会 水素・燃料電池講演会 ○ 化学工学CFD研究会第2回 「ゼロからできるCFD-明日から君もCFD技術者-」 ○ 〈北陸〉第68回化学工学講習会(富山) ○ 〈播磨〉第2回幹事会 ○ 〈播磨〉企業見学会	○	○ 〈岡山〉学生工場見学会(岡山) ○ 〈山口〉化学工学研究会(宇部) ○ 〈中国四国〉〈中国〉2014年度セミナー(広島) ○ 〈徳島〉工場見学会(徳島) 22~24 [徳島]第55回高圧討論会(徳島)	○	化学工学の基礎出前講習会
○	第5回 幹事会 ○ 第39回 基礎化学工学演習講座 ○ 〈静岡〉子供たちのための理科倶楽部	○	第3回幹事会(大阪) ○ 第2回留学生のつどい ○ 学生の会幹事会 ○ 第25回CES21コロキウム ○ (中国四国支部 共催)姫路大会 ○ 和歌山地区共催セミナー ○ 第14回京滋化学技術交流会 ○ 環境&資源エネルギー研究会姫路大会シンポジウム ○ 開発型企業連携研究会 セミナー&ミキサー ○ 化学工学イノベーション研究会第15回研究会	○	○ 〈中国四国〉支部大会(広島) ○ 〈岡山〉化学工学コロキウム1(岡山) ○ 〈岡山〉化学工学コロキウム2(岡山) ○ 〈徳島〉第19回徳島地区分析技術セミナー(徳島)	5-7	第27回化学工学に関するシンポジウム ○ News letter 発行
○	第1回 常任幹事会 ○ 第96回 講演見学会	○	第1回委員長連絡会(大阪) ○ プラント・プロセス研究会第15回見学会 ○ 〈北陸〉第212回装置懇話会(富山)	○	○ 〈岡山〉工場見学会とミニシンポ(岡山) ○ 〈徳島〉第94回講演会(徳島)	○	第17回企業と大学・高専の人材育成懇談会 ○ 第3回役員会
○	〈静岡〉第49回 静岡コロキウム 10 第6回 幹事会/役員会/第107回東海技術サロン [メルバルクNAGOYA]	○	第4回幹事会(大阪) ○ セミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向 講演&見学会」 ○ 第27回CES21講演会(大阪) ○ 環境&資源エネルギー研究会第13回講演会 ○ 工業化技術研究会第10回研究会 ○ 〈北陸〉第3回理事会 ○ 〈播磨〉第3回幹事会 ○ 〈播磨〉第33回播磨産業フォーラム	○	○ 〈中国四国〉〈岡山〉講習会・講演会(岡山) ○ 〈中国四国〉〈山口〉講演会・見学会(周南)	○	第3回幹事会・企画会議

# 平成 25 年度部会事業計画書

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 国際関連事業               | 2. シンポジウム・講演会などの行事 |
| 3. 本部大会・支部行事関連行事        | 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動 |
| 5. 出版物・特集号などの化学工学出版への寄与 | 6. 受託事業の推進         |
| 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行  | 8. 特記事項            |

## A. バイオ部会

### 1. 国際関連事業

- ・第 79 年会国際シンポジウム:Micro/Nano Technology in Medicine  
(3月19日, 岐阜大学, バイオ部会主催)
- ・第 14 回国際バイオ分離シンポジウム  
(10月28日-29日, 山口大学工学部, バイオ部会主催, 山口地区化学工学懇話会他共催)
- ・第 10 回分離技術国際会議バイオ分離セッション  
(10月30日-11月1日, 奈良県新公会堂, 分離技術会主催, バイオ部会生物分離分野専門分科会共催)
- ・AIChE-SCEJ joint session on bioseparation and nanotechnology at AIChE annual meeting  
(11月16日-21日, Hilton Atlanta, AIChE 主催, バイオ部会生物分離分野専門分科会共催)

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・第 46 回秋季大会シンポジウム (九州大学伊都キャンパス)  
バイオ部会ポスターセッション「生物化学工学の新潮流」(フラッシュプレゼン付き)  
(9月17日, バイオ部会主催)  
「再生医療の高度化に向けた化学工学の役割」  
(9月17日, バイオ部会メディカル分野専門分科会主催)  
「時代を切り拓くバイオフィルム工学」  
(9月17日, バイオ部会環境生物分野分科会主催, 環境部会水環境プロセス分科会共催)  
「食品産業の発展を支える化学工学 - 食品を作る技術を創る -」  
(9月17日か18日のいずれか, 化学工学会食糧・食品生産分野専門分科会主催, 日本食品工学会共催)  
「国際基準に適合した次世代抗体医薬等の製造技術開発 ~細胞構築-培養-精製-評価~」  
(9月18日, バイオ部会生物分離分野専門分科会・CHO 細胞研究会主催, 次世代バイオ医薬品製造技術研究組合共催)  
「バイオ産業の発展に生物情報工学は何か出来るのか」  
(9月18日または19日, バイオ部会生物情報分野専門分科会主催)  
「バイオマスの生物化学変換、熱化学変換とその融合」  
(9月17日-19日のいずれか, エネルギー部会バイオマス分科会主催, バイオ部会環境生物分野専門分科会・日本エネルギー学会共催)
- ・日本食品工学会 2014 年度秋季講演会  
(2014年11月頃, 場所未定, 日本食品工学会主催, バイオ部会食糧・食品生産分野専門分科会共催)
- ・シンポジウム:細胞アッセイ技術の現状と将来  
(12月頃, 産業技術総合研究所臨海副都心センター (予定), バイオ部会細胞アッセイ研究会他主催, バイオ部会共催)
- ・バイオ部会インフォーマルミーティング  
(開催月日未定, 場所未定, バイオ部会主催)

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第 79 年会国際シンポジウム:Micro/Nano Technology in Medicine  
(3月19日, 岐阜大学, バイオ部会主催)

### 4. 講習会などの啓発活動

特になし

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

特になし

### 6. 受託事業の推進

特になし

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・Newsletter No.36 (2014年6月発行)
- ・Newsletter No.37 (2014年10月発行)
- ・Newsletter No.38 (2015年2月発行)

### 8. その他

- バイオ部会平成 26 年度総会 (3月19日, 岐阜大学)
- バイオ部会平成 26 年度第 1 回役員会 (9月17日か18日, 九州大学伊都キャンパス)
- バイオ部会平成 26 年度第 2 回役員会 (2月中, 東京大学本郷キャンパス)



## B. 超臨界流体部会

### 1. 国際関連事業

- 14th European Meeting on Supercritical Fluids / 18 - 21 May 2014 / Marseille France
- RRB10 - 10th International Conference on Renewable Resources & Biorefineries 04-06 June 2014 / Valladolid Spain
- International Conferences on Modern Materials and Technologies CIMTEC 2014/the 13th International Ceramics Congress (8-13 June) and of the 6th Forum on New Materials (15-19 June)/Montecatini Terme, Italy
- The Collaborative Conference on Materials Research (CCMR) 2014/June 23-27, 2014/Songdo Convensia, Seoul, South Korea
- Green Chemistry (GRS) Gordon Research Seminar / 26-27 July 2014/The Chinese University of Hong Kong Hong Kong, China
- The 4th International Symposium on Aqua Science and Water Resources (ISASWR2014) / 14-16 August, 2014/Taiyuan, China
- The 4th International Solvothermal and Hydrothermal Association Conference (ISHA2014) / 26-29/ October, 2014/ /Bordeaux France
- 7th Green Solvents Conference / 19 -22 October 2014/Dresden/Germany

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- 第79年会
- 秋季大会
  - シンポジウム1. 超臨界・超臨界流体の技術革新に向けた新展開
  - シンポジウム2. 超臨界・超臨界流体技術の最先端基礎物性研究
  - 基礎物性部会と共催 シンポジウム
  - CVD・ドライプロセスと共催シンポジウム

### 4. 講習会などの啓発活動

- 超臨界流体の基礎・安全に関するセミナー(5月予定)
- 第13回サマースクール(8月予定)

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- 化工年鑑

### 6. 受託事業の推進

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- 部会ニューズレターNo.19, 20 発行予定

### 8. その他

超臨界流体部会平成26年度総会(3月19日, 岐阜大学)

## C. エネルギー部会

### 1. 国際関連事業

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- 第28回熱利用分科会研究会(H26年6月~8月頃・場所未定)
- 合同研究会 第29回 熱利用分科会研究会/ 新エネルギー・エネルギーシステム分科会 2014年度研究会(H26年12月~H27年2月頃・場所未定)
- 第51回石炭科学会議(共催)
- 第2回先端計測技術の応用展開に関するシンポジウム(H26年12月・東北大学)

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- 第46回秋季大会:(シンポジウム)持続可能な社会を支えるエネルギーの転換・貯蔵・利用技術に関する最新の動向
- 第46回秋季大会:(シンポジウム)次代を担う各種電池等のエネルギーデバイスの新展開 -材料・プロセス・システム-
- 第46回秋季大会:(シンポジウム)バイオマスの生物化学変換、熱化学変換とその融合
- 第80年会

### 4. 講習会などの啓発活動

- 第3回 若手セミナー(H26年9月~12月頃・場所未定)
- 日本エネルギー学会燃焼部会 講習会(協賛)

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- 英文特集号

### 6. 受託事業の推進

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

### 8. その他

## D. 安全部会

### 1. 国際関連事業

- ・6/8～11 WCOGi 2014(the 5th World Conference on the Safety of Oil & Gas Industry)
  - ・ OKAYAMA CONVENTION CENTER Okayama, Japan
  - ・ 安全工学会と化学工学会安全部会の共催

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 安全講演会 (2014年11月、東大山上会館)
- ・ ワーキンググループ活動
  - ・ Process Chemistry 標準モデルワーキンググループ
  - ・ 安全管理メトリクスWGと設備保全技術の体系化WGの研究
- ・ 安全サロン (3～4か月に1度化学工学会会議室にて開催予定)

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第45回秋季大会  
「安全部会シンポジウム」
  - ① 業務プロセスの見える化 ② 安全部会の新WG③ 事故事例の現場での活用④他

### 4. 講習会などの啓発活動

- ・ 第21回安全セミナー(安全評価手法(HAZOP)) (2015年2月)
- ・ 非定常HAZOPのセミナーを具体化する。

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ テクニカルレポートの発行:
  - ・ 現在のWG活動が2年経過したのでその報告をテクニカルレポートとしてまとめる。  
事故事例活用WG ・メトリクスWG ・設備保全WG
  - ・ 化学工学会特集:英文誌
- ・ 講演会等での研究発表
  - ①安全管理の見える化。 ②事故事例活用。 ③変更管理。

### 6. 受託事業の推進

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

### 8. その他

## E. エレクトロニクス部会

### 1. 国際関連事業

- ・ 予定なし。ただし臨時開催はある。

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 10月 シンポジウム

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第79年会 セッション「エレクトロニクス」
- ・ 第46回秋季大会「エレクトロニクス材料とプロセス」

### 4. 講習会などの啓発活動

- ・ シンポジウム要旨集のホームページへの掲載

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 「化学工学」年鑑への寄稿

### 6. 受託事業の推進

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会ニュースの配信とホームページへの掲載

### 8. その他

- ・ 部会ニュースの配信とホームページへの掲載

## F. 粒子・流体プロセス部会

### 1. 国際関連事業

- ・ North American Mixing Forum XXIV (ニューヨーク州、2014年6月22日)
- ・ International Symposium on Mixing in Industrial Processes 8 (メルボルン、2014年9月17-17日)

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 部会セミナー
- ・ 粉体プロセスセミナー
- ・ 熱物質流体工学セミナー
- ・ ミキシング技術夏期セミナー

- ・ ミキシングサロン(東日本地区、関西東海地区、九州地区)
  - ・ 気液固分散工学サロン(第 10 回、第 11 回)
  - ・ 流動化・粒子プロセッシングシンポジウム
3. 本部大会・支部行事関連行事
    - ・ 第 47 回秋季大会シンポジウム(4件)
  4. 講習会などの啓発活動
    - ・ 若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会
    - ・ 技術コース
  5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
    - ・ 化学工学年鑑への寄稿
  6. 受託事業の推進
  7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
    - ・ 部会ニュースレター
    - ・ ミキシング技術分科会誌”Mixing Technology Now No.19”発行
    - ・ 気液固分散工学ニュースレター(11 号、12 号)
  8. その他
    - ・ 部会賞の公募, 審査・授与および記念講演会の開催

## G. システム・情報・シミュレーション部会

1. 国際関連事業
  - ・ プロセス強化に関する日台交流セミナー(神戸, 2014 年 9 月を予定)
2. シンポジウム・講演会などの行事
  - ・ 情報技術教育分科会研究会(2014 年 3 月 28-29 日)
  - ・ プラントオペレーション分科会 第 130 回研究会(2014 年 3 月)
  - ・ 統合化学分科会 2014 年度第 1 回研究会(2014 年 4 月)
  - ・ コストエンジニアリング分科会 関東分科会(2014 年 4 月)
  - ・ プラントオペレーション分科会 第 131 回研究会(2014 年 5 月)
  - ・ コストエンジニアリング分科会 関西分科会(2014 年 5 月)
  - ・ 統合化学分科会 2014 年度第 2 回研究会(2014 年 7 月)
  - ・ コストエンジニアリング分科会 関東分科会(2014 年 7 月)
  - ・ コストエンジニアリング分科会 関東関西合同合宿(2014 年 8 月)
  - ・ 情報技術教育分科会 研究会(2014 年 9 月 6 日)
  - ・ 情報技術教育分科会 研究会(2014 年 9 月 19 日)
  - ・ 統合化学分科会 2014 年度第 3 回研究会(2014 年 10 月)
  - ・ コストエンジニアリング分科会 関西分科会(2014 年 10 月)
  - ・ コストエンジニアリング分科会 関東分科会(2014 年 10 月)
  - ・ プラントオペレーション分科会 第 132 回研究会(2014 年 11 月)
  - ・ ダイナミックプロセス応用分科会 平成 26 年度研究討論会(2014 年 11 月)
  - ・ 情報技術教育分科会 研究会(2014 年 12 月 6 日)
  - ・ 情報技術教育分科会 研究会(2015 年 1 月 31 日)
  - ・ プラントオペレーション分科会 第 133 回研究会(2015 年 1 月)
  - ・ 統合化学分科会 2014 年度第 4 回研究会(2015 年 1 月)
  - ・ コストエンジニアリング分科会 関東分科会(2015 年 1 月)
  - ・ コストエンジニアリング分科会 関西分科会(2015 年 2 月)
3. 本部大会・支部行事関連行事
  - ・ 第 79 年会
  - ・ 国際シンポジウム “Advancements in Process Systems Engineering” (2014 年 3 月 18 日)
  - ・ 第 46 回秋季大会 (2014 年 9 月)
    - ・ シンポジウム「プロセスシステム工学の最近の進歩」
    - ・ シンポジウム「優れたシナリオ創出を支援する統合化学」
    - ・ シンポジウム「強化された反応・分離システムの展開と Computer-Aided Process Engineering の応用」
    - ・ シンポジウム「グローバル化の進展と国内空洞化に対応するコストエンジニアリング」
    - ・ 第 13 回プロセスデザイン学生コンテスト
4. 講習会などの啓発活動
  - ・ 第 32 回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(2014 年 12 月)
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
  - ・ 統合化学に関する出版事業  
2006 年に出版された「統合学入門」に続く、統合化学の実践事例をまとめた書籍を計画中である。  
本年度は構成と執筆分担を決定、執筆を開始する。

## 6. 受託事業の推進

## 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会員(約 300 名)宛のメールマガジンを不定期に発行予定(年間 12 通程度)
- ・部会ホームページの更新および拡充

## 8. その他

- ・オペレータ意識に関するアンケート調査を実施予定
- ・SIS 部会幹事会 (2014 年 3 月, 岐阜大学)
- ・SIS 部会幹事会 (2014 年 9 月, 九州大学)
- ・SIS 部会賞の授与 (2014 年 3 月, 2014 年 9 月)

# H. 反応工学部会

## 1. 国際関連事業

- ・第 79 年会 反応工学部会国際シンポジウム「超音波と活性種が拓く未来」  
(主催:化学工学会、共催:反応工学部会、エネルギー部会 2013 年 3 月 19 日)

## 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・第 7 回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会(2013 年 3 月)
- ・第 12 回大気圧プラズマ関連の講演会・見学会 (2014 年 5 月)
- ・第 14 回微細気泡関連の講演会 (2014 年 6 月)
- ・第 13 回大気圧プラズマ関連の講演会・見学会 (2014 年 11 月)
- ・第 15 回微細気泡関連の講演会 (2014 年 12 月)
- ・第 8 回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会(2013 年 9 月)
- ・第 23 回ソノケミストリー討論会(共催) 秋田大学(秋田市) (2014 年 10 月 31 日-11 月 1 日)
- ・第 8 回触媒劣化セミナー(主催)(2013 年 11 月中旬)
- ・ソノプロセス分科会主催講演見学会 (2014 年)
- ・第 5 回マイクロ化学プロセス分科会討論・交流会 (2014 年)
- ・第 6 回マイクロ化学プロセス分科会講演会 (開催年・月未定)

## 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第 79 年会
  - ・反応工学部会国際シンポジウム「超音波と活性種が拓く未来」
  - ・シンポジウム 5.反応工学分野(ポスターセッション併設)
- ・第 46 回秋季大会
  - ・反応工学部会シンポジウム「資源・エネルギー・環境分野における反応工学の新展開」(ポスターセッション併設)
  - ・反応場の工学分科会シンポジウム「プラズマプロセスによる化学工学の新展開」  
(熱工学部会、粒子・流体プロセス分科会と共催)
  - ・マイクロ化学分科会シンポジウム「次世代プロセスを拓くマイクロ化学プロセス技術」
  - ・CVD 反応分科会シンポジウム「CVD・ドライプロセス—構造・機能制御の反応工学」  
(材料・界面工学部会、超臨界流体部会と共催)
  - ・部会横断型シンポジウム「電池シンポジウム(仮題)」  
(反応工学部会、エネルギー部会、材料・界面工学部会)

## 4. 講習会などの啓発活動

- ・触媒反応工学分科会全体幹事会(2013 年 3 月)
- ・触媒反応工学部会分科会賛助会員の集い(併催:学生見学会)(2014 年 6~10 月頃)
- ・触媒反応工学分科会平成 26 年度劣化報告書の作成および賛助会員などへの配布
- ・第 54 回オーラセミナー(触媒学会北海道地区主催事業)への支援
- ・第 5 回マイクロ化学プロセス分科会討論・交流会(2014 年・開催月未定)にて若手向けチュートリアルを開催

## 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・化学工学年鑑 2013 の執筆
  - ・・・触媒反応工学, ソノプロセス, 活性種化学, 反応分離, 反応装置・プロセス, CVD 反応, マイクロ化学プロセス, 反応場の工学

## 6. 受託事業の推進

## 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・反応分離分科会 反応分離ニュース(少なくとも 1 回/年)
- ・マイクロ化学プロセス分科会ニュースレター(4 回/年)

## 8. その他

- ・Facebook を使用した情報発信(随時)(マイクロ化学プロセス分科会)

## I. 環境部会

### 1. 国際関連事業

- ・「第12回資源リサイクルと材料科学に関する日韓国際シンポジウム」(2014年4月17-19日、韓国)への協賛
- ・23rd Japan-Korea Symposium on Water Environment (静岡)への協賛

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・各分科会において見学会等を実施予定

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・化学工学会秋季大会において「環境部会シンポジウム」を主催
- ・化学工学会秋季大会においてシンポジウム「IPCC 第5次報告書の概要(仮)」を主催
- ・化学工学会秋季大会においてバイオ部会(環境生物分野分科会)との合同シンポジウム「時代を切り拓くバイオフィルム工学」の共催

### 4. 講習会などの啓発活動

- ・水環境関連のセミナーを実施予定

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・英文誌特集号(Sustainable Environmental Technologies)の発行
- ・化学工学10月号特集 化学工学年鑑2014(環境化学工学)

### 6. 受託事業の推進

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会関連の情報を適宜、部会員全体のメーリングリストにて提供

## J. 材料界面部会

### 1. 国際関連事業

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・材料化学システム工学討論会2014(夏頃、東京工業大学)
- ・Joint Congress of ACTS2014 and CGOM11(奈良新公会堂、2014年6月17日-20日)  
(Joint Congress of Asian Crystallization Technology Symposium-2014(ACTS-2014) and 11<sup>th</sup> International Workshop on Crystal Growth of Organic Materials (CGOM11))
- ・第8回 マイクロカプセル研究会講演会(開催日時、場所は調整中)
- ・第13回 機能性微粒子分科会セミナー(開催日時、場所は調整中)
- ・塗布技術分科会 第53回定例会合(関東)
- ・塗布技術分科会 第53回定例会合(関西)
- ・塗布技術分科会 第54回定例会合(関東)
- ・塗布技術分科会 第54回定例会合(関西)
- ・塗布技術分科会 合宿討論会(日時・場所未定)
- ・塗布技術分科会 6<sup>th</sup> Asian Coating Workshop(5月8日-9日、神戸大学)
- ・高分子・ゲルテクノロジー分科会 ゲルテクノロジーハンドブック出版講演会(仮),(秋頃、東京)

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

9月17日-19日

- ・第46回秋季大会 材料・界面討論会「材料創出と界面制御の新展開」(オーラル&ポスター)(九州大学)
- ・第46回秋季大会 高分子・ゲルテクノロジー、自己組織化プロセス、機能性微粒子に関する横断的シンポジウム(九州大学)

### 4. 講習会などの啓発活動

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

「分散・塗布・乾燥」(テクノシステムより2014年度出版予定)

### 6. 受託事業の推進

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

【材料・界面部会ニュース】部会員に対して随時メール配信

### 8. その他

- ・H26年、高分子・ゲルテクノロジー分科会メンバー会合(秋季大会会期中を予定)
- ・H26年 第1回 機能性微粒子分科会委員会(2014年3月18日を予定)
- ・H26年 第2回 機能性微粒子分科会委員会(2014年9月17日を予定)
- ・学生・若手研究者交流会(2013年9月18日を予定)

## K. 基礎物性部会

### 1. 国際関連事業

- ・ AIChE Annual Meeting においてジョイントシンポジウムを企画し、部会員を Co-chair として派遣する。

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 秋季大会において、基礎物性部会主催シンポジウム、ならびに超臨界流体部会との共催シンポジウムを開催する。また、他部会ならびに他学会(例えば分離技術会)との交流を推進し、シンポジウム等を共催する。

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

該当事業なし

### 4. 講習会などの啓発活動

- ・ 分離技術会等関連学会、部会とともに企業研究者を対象とした物性測定技術ならびに推算法の最新技術の講習会を共催する。

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学誌に連載した「シミュレータでの物性推算」の記事を基に専門書を執筆することを計画している。

### 6. 受託事業の推進

- ・ 文部科学省や経済産業省等の大型の研究費獲得に向け、部会員間・他部会員との連携を強化する。

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会員に向けた部会ニュース・メールマガジンを配信し、部会員の部会事業への積極的な参加を促す。

### 8. その他

- ・ 他学会(分離技術会等)の開催に共催あるいは協賛として積極的に参加する。この際、化学工学以外の物性研究者を取り込むよう部会員の積極的参加・発表を促す。また、学生会員を増加させるために、学生を対象とした物性測定技術、推算法に関するセミナー開催へ向け準備を進める。

## L. 分離プロセス部会

### 1. 国際関連事業

- ・ 化学工学会第 79 年会 国際シンポジウム  
「Fixation and effective utilization of carbon dioxide and separation techniques」

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第 12 回分離プロセス基礎講座(8 月:吸着・イオン交換分科会担当)  
分離プロセスは組み立て工業以外の全製造部門において、コストを支配する基幹のプロセスである。化学工学会分離プロセス部会では、この分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に招き、分離プロセスの基礎理論を平易に解説する「分離プロセス基礎講座」を年一回程度のペースで開催している。
- ・ 第 6 回分離プロセス最新技術講座(11 月:膜工学分科会担当予定)  
一般に製造部門は非常に多くのプロセスから成り立っている。それらの中で分離プロセスは製品のコストや性能を支配する重要なプロセスとして位置づけられる。化学工学会分離プロセス部会では、この重要な分離プロセス分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に迎え、分離プロセスの最新技術を平易に解説する「分離プロセス最新技術講座」を隔年のペースで開催している。
- ・ 第 10 回分離プロセス講演及び見学会(抽出分科会担当予定)  
化学工学会分離プロセス部会では、年に一回のペースで、分離プロセスの実際の現場を見学し、講演を聴くことで、分離プロセスの理解を深める企画をしている。

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 化学工学会第 46 回秋季大会 シンポジウム  
粒子・流体系分離プロセスの最新技術(口頭:固液分離分科会)
  - ・ 抽出・イオン交換・吸着の新展開(口頭:抽出分科会、吸着・イオン交換分科会)
  - ・ 省エネルギー蒸留プロセスを支える要素技術(口頭:蒸留分科会)
  - ・ 強化された反応・分離システムの展開と Computer-Aided Process Engineering の応用(口頭:SIS 部会、分離プロセス部会、反応工学、エネルギー部会)
- ・ 分離プロセス部会シンポジウム(口頭)
- ・ 分離プロセス部会ポスターセッション(ポスター)
- ・ 実用分離技術ポスターセッション(ポスター)

### 4. 講習会などの啓発活動

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

### 6. 受託事業の推進

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会 HP を随時更新し、部会会員への情報提供を強化する。
- ・ ニュースレターを年に 1 回のペースで発行する。

## M. 熱工学会

### 1. 国際関連事業

予定なし

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 熱工学会講演会(1回/年)  
内 容 : 熱工学に関連する重要かつ興味あるテーマを設定し、4名程度の講師に講演を依頼するとともに、参加者間でテーマに関する議論並びに情報交換を行う。  
開催日 : 未定  
会 場 : 未定
- ・ 平成 26 年度第 1 回熱工学会研究会  
内 容 : 部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。  
開催日 : 化学工学会第 46 回秋季大会(平成 26 年 9 月 17 日～19 日)期間中  
会 場 : 九州大学
- ・ 平成 26 年度第 2 回熱工学会研究会  
内 容 : 部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。  
開催日 : 熱工学会講演会と同じ  
会 場 : 熱工学会講演会と同じ
- ・ 平成 26 年度総会  
内 容 : 部会の行事・決算報告、次年度の行事予定・予算の審議等を行う。  
開催日 : 化学工学会第 79 年会(平成 26 年 3 月 18 日～20 日)期間中  
会 場 : 岐阜大学

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 化学工学会第 46 回秋季大会におけるシンポジウム「熱工学シンポジウム」  
オーガナイザー: 中曾浩一(九州大), 齋藤泰洋(東北大), 日出間るり(神戸大)  
概要 : 本シンポジウムでは熱を取り扱う技術や課題について、分野横断的に情報交換を行いながら、持続可能な社会の実現に向けて、熱工学が果たすべき役割について考える。熱と関わる基礎・応用研究にとどまらず、装置開発および改善に関する実例の報告、問題提起などを広く募集する。  
開催日 : 大会(平成 26 年 9 月 17 日～19 日)期間中  
会 場 : 九州大学
- ・ 化学工学会第 46 回秋季大会におけるシンポジウム「プラズマプロセスによる化学工学の新展開」  
(熱工学会部会、反応工学会部会、粒子・流体プロセス部会共催)  
オーガナイザー: 渡辺隆行(九州大), 尾上薫(千葉工大), 大河原真一(東工大)  
概要 : プラズマプロセスは環境問題の解決のための先端基盤技術のひとつとして注目されており、材料合成の分野ではプラズマによるナノ粒子合成システムの研究、機能性薄膜の作製、表面処理などの幅広い分野に応用されている。本シンポジウムでは、プラズマプロセスの基礎と応用に関する討論をもとに、化学工学における新たな展開を探る。  
開催日 : 大会(平成 26 年 9 月 17 日～19 日)期間中  
会 場 : 九州大学

### 4. 講習会などの啓発活動

予定なし

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学会誌における部会発の特集企画「熱プラズマプロセス」  
内 容 : 環境問題の解決のための先端基盤技術のひとつとして熱プラズマ技術が注目されており、材料合成の分野では熱プラズマによるナノ粒子合成システムの研究が産学で盛んに行われている。熱工学会部会で企画した大特集企画として 9 名の執筆者で熱プラズマの発生方法などの基礎から応用に関して取りまとめる。  
発行日 : 平成 26 年 5 月
- ・ 熱工学に関する教科書の出版事業(数回/年)  
内 容 : 執筆対象、表題、各章の構成、執筆分担などを決定する。  
開催日 : 数回/年(持ち回り)  
会 場 : 各大学

### 6. 受託事業の推進

予定なし

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会ホームページにおける情報発信を強化するために、ホームページの内容を大幅に改定する。

### 8. その他

- ・ 熱工学会賞  
化学工学会第 46 回秋季大会におけるシンポジウム「熱工学シンポジウム」での 35 歳未満の発表者を対象とする。

## N. 化学装置材料部会

### 1. 国際関連事業

- ・MTI(Materials Technology Institute)との情報交換会 計画中 (5月)

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

#### 【主催事業】

- ・第79年会化学産業技術フォーラム セッション「高温設備の診断と寿命延長」
- ・第46回秋季大会 シンポジウム「エネルギーの創製, 貯槽, 輸送に関わる化学装置材料技術」を計画

### 4. 講習会などの啓発活動

#### 【主催事業】

- ・部会講演会(数回/年)  
内容 : 各分科会の会合で提供されている主に部会員を対象とした講演を公開する形で開催。

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・「化学工学」誌
  - ・化学工学年鑑執筆
  - ・「老朽化」をテーマに特集号を計画
- ・ボイラー水の防食管理に関する資料集を発刊予定(腐食分科会)

### 6. 受託事業の推進

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会メールマガジンを適宜発行

### 8. その他

- ・保全に関する分科会の活動を再開する。